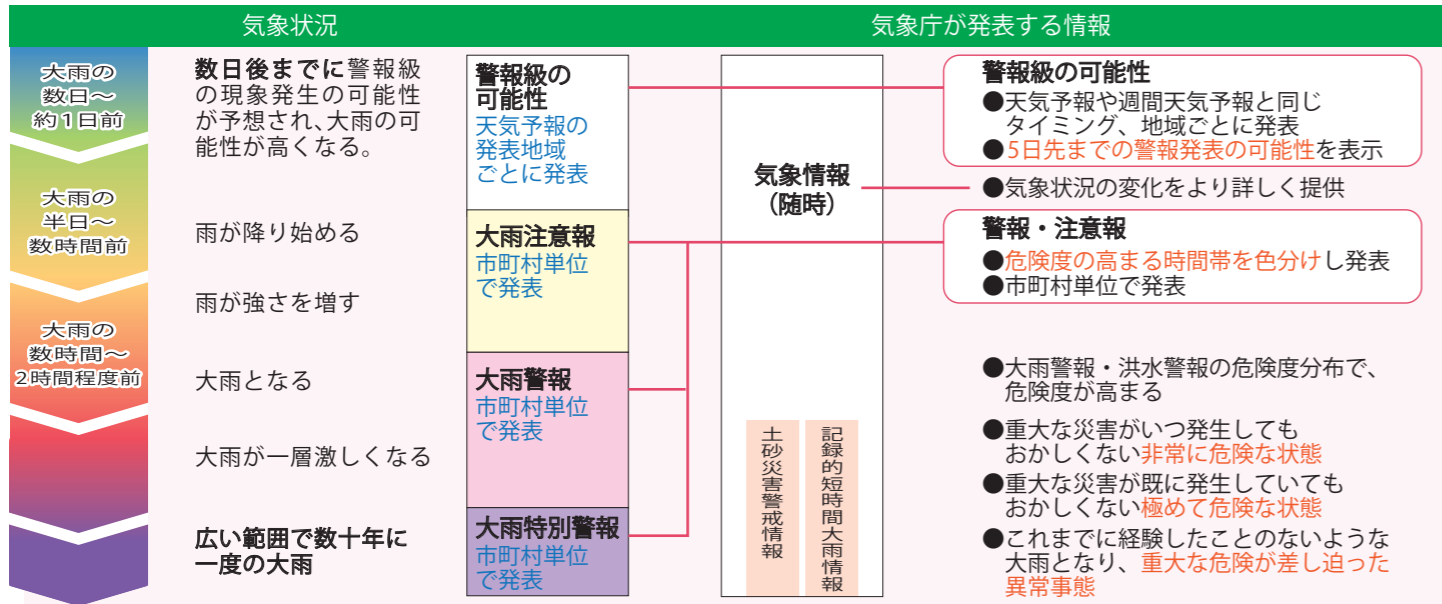


大雨・洪水に関する情報

●発表する情報と具体的な活用例 — 大雨の場合

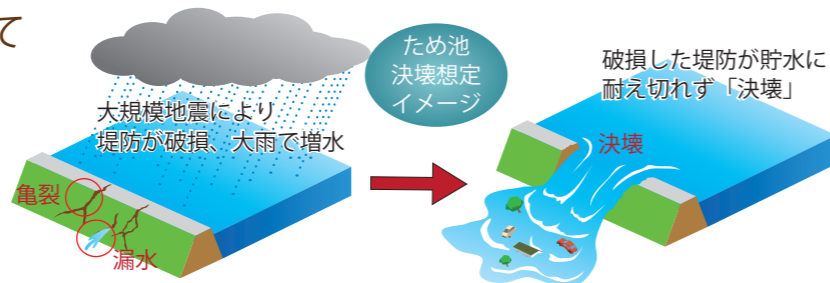


気象庁では気象警報・注意報に関する情報を公開しています ▶ <http://www.jma.go.jp/jp/warn/>

もしも、ため池の堤防が壊れたら

●はん濫シミュレーションについて

本ハザードマップ作成にあたり、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の被害範囲となるかを知るために、最悪の状況を想定した被害予測を行いました。地図上では、想定される最大の浸水範囲と深さを示しています。



●こんなとき、ため池が危ない！

- 大雨時**
- 急激な水位上昇により、流水が堤体を越えようとする場合
 - 漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
 - 堤体が陥没し、漏水が生じた場合
- 地震時**
- 堤体の陥没やひび割れが発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合

●状況に応じた対応を考えよう！

- 上富田町から発表される避難情報に従いましょう。
- 雨の降り方や周辺の状況から”あぶない”と感じたら、自分から進んで早めに避難をしましょう。
- 揺れが収まったら、高台やため池から離れた場所へ避難しましょう。

避難をする時に注意すること

○ため池決壊以外の災害も意識する

ため池決壊のおそれがある状況では、周辺で右図のような災害も発生している可能性があることに注意をして避難しましょう。



○危険な場所は避ける

できるだけ狭い道や塀ぎわ、川や水路の近くなどは避け、安全な広い道を選んで避難しましょう。

○浸水し始めたら無理をしない

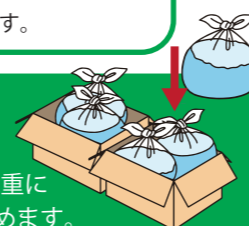
歩ける水深の目安はひざくらいまでです。水深が浅くても流れが速くなると大変危険なので、無理はしないようにしましょう。

自宅に留まることも選択肢の一つ

浸水の中を避難することはとても危険です。浸水がすでに始まっている場合や、自宅がため池から離れており浸水被害が小さいと予想される場合は自宅に留まり、2階へ避難するというのも選択肢の一つです。

家庭の浸水軽減する方法

『ゴミ袋による簡易水のう』
40リットル程度の容量のゴミ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。これを段ボール箱に入れ、連結して使用します。



次郎大衛門池ハザードマップ



次郎大衛門池ハザードマップは、万が一の地震や大雨によってため池が決壊する恐れのある場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立つ情報を提供するものです。また、住民のみなさんがマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上に取り組まれることを目的としています。

緊急時の連絡先

行政機関	田辺消防署上富田分署	0739-47-0119	ライフライン	上富田町役場 / 上下水道課	0739-34-2375
	田辺警察署	0739-23-0110		関西電力(株)コールセンター	0800-777-8073
	上富田町役場 / 総務課	0739-34-2370		西日本旅客鉄道(株)紀伊田辺駅	0739-22-9982
	上富田町役場 / 建設課	0739-34-2374		【電話】会社名:	
				【ガス】会社名:	
救急告示医療機関	紀南病院	0739-22-5000	その他		
	南和歌山医療センター	0739-26-7050			
	田辺中央病院	0739-24-5333			
	白浜はまゆう病院	0739-43-6200			

※【電話】・【ガス】は契約会社に確認して記入してください。

災害用伝言ダイヤル(171)

「171」をダイヤルし、ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてください。

災害用伝言ダイヤル(171)は、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の録音・再生をすることができます。

伝言の録音 171 + 1 + 被災地の人の電話番号(市外局番から) → 録音

伝言の再生 171 + 2 + 被災地の人の電話番号(市外局番から) → 再生

わが家の防災メモ

わが家の避難場所	
家族の集合場所	
緊急時の連絡先	
かかりつけの病院	

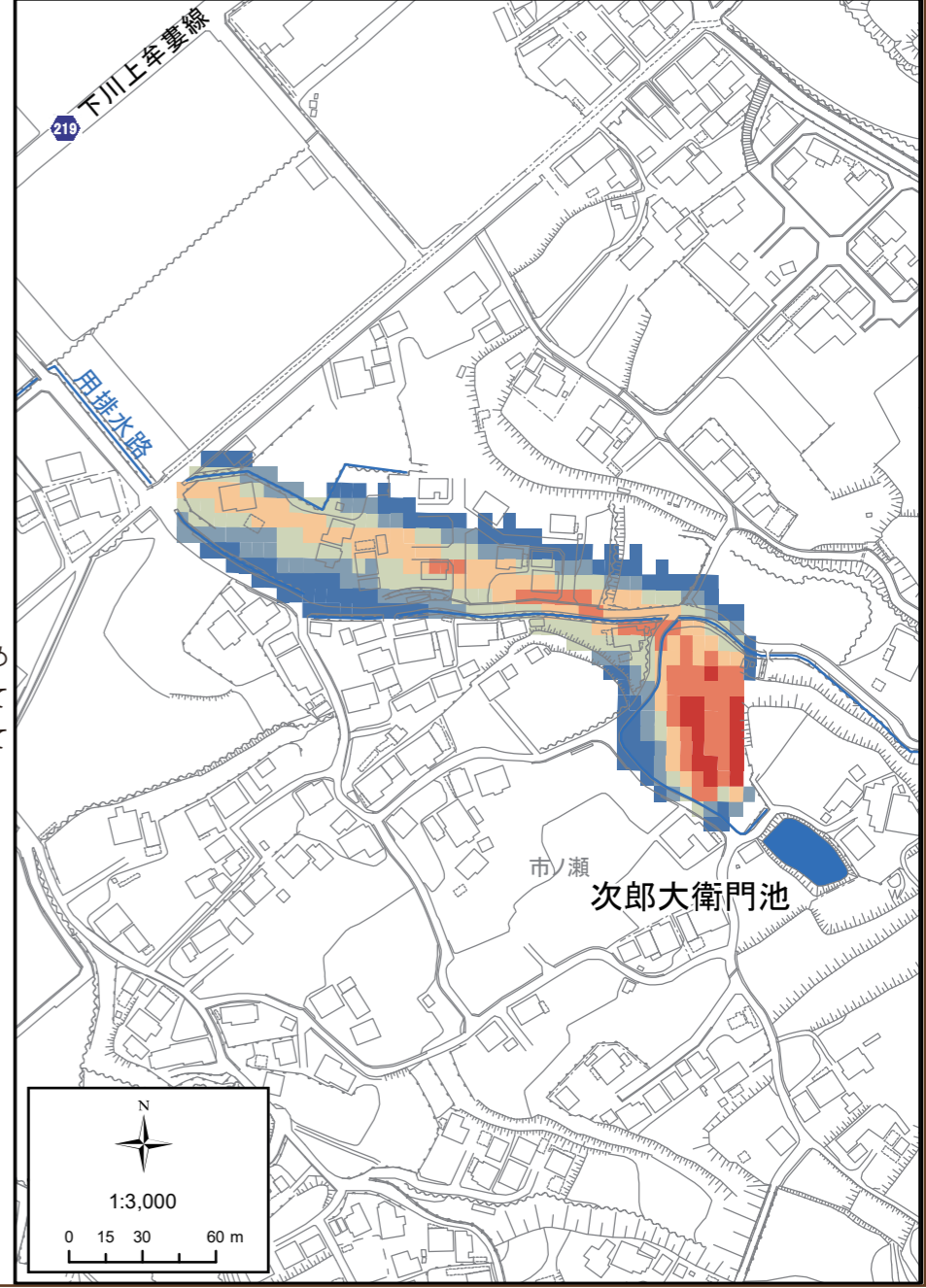
家族の名前	生年月日	血液型	既往症	携帯電話 / 会社・学校の連絡先

【次郎大衛門池 諸元】
 堤高 2.6 m
 総貯水量 400 m³
 [25mプール約 1 杯分]
 (※プールは600m³で換算)



■ はん濫水の流速

はん濫シミュレーション結果における、はん濫水の流速の想定を表現しました。流速の大きな場所では人的、物的被害が生じやすいとされています。また、大人の膝がつかる程度の0.5m以上の浸水の中では、歩行での避難は困難または不可能とされていますが、0.5m未満の浸水深でも、流速が1.0m/秒以上あれば歩行は難しくなります。右の図を参考にあらかじめ流速の大きな箇所を避けて避難を行えるよう検討しておきましょう。



【はん濫水の最大流速】

- 0.5m/秒未満
- 0.5~1.0m/秒未満
- 1.0~1.5m/秒未満
- 1.5~2.0m/秒未満
- 2.0~2.5m/秒未満
- 2.5m/秒以上

凡例

- 対象ため池
- 避難施設
- 字界

浸水深の目安

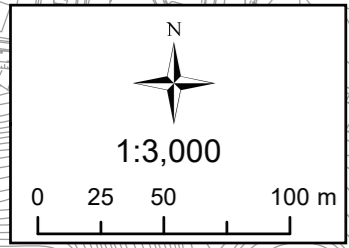
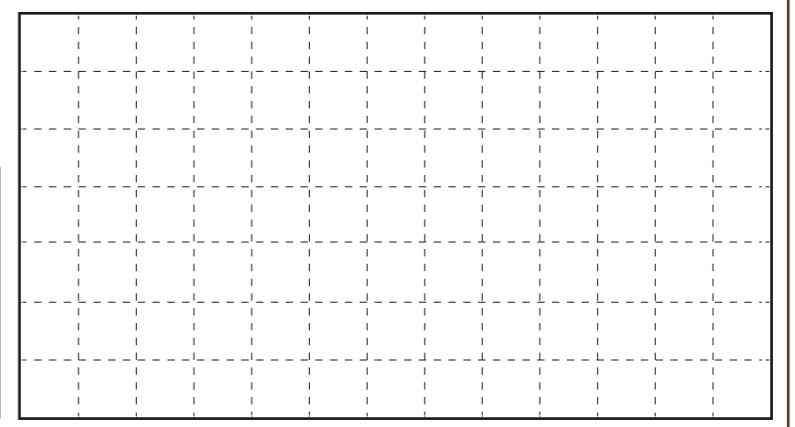
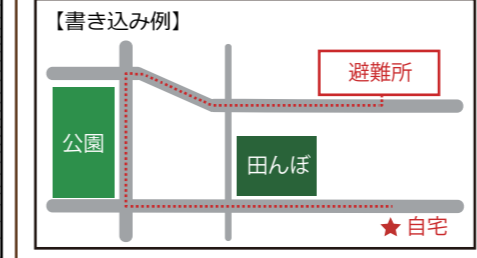
- 2階の軒下までつかる程度5.0m
- 1階の軒下までつかる程度2.0m
- 大人の腰までつかる程度1.0m
- 大人の膝までつかる程度0.5m

浸水深

- 5.0m以上
- 2.0~5.0m未満
- 1.0~2.0m未満
- 0.5~1.0m未満
- 0.5m未満

■ わが家の避難経路

防災マップを持って、家族みんなで避難所まで歩いてみましょう。実際に歩いてみて、安全で避難しやすい経路を探し、あなたの経路図を右の地図に書き込んでみましょう。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平29情使、第871号)」